

第02号 | 2014年2月14日発行

ライフデザイン学部における社会福祉士国家試験取得支援

助教 荻野剛史

皆さんは社会福祉士という資格を知っていますか？社会福祉士は、社会福祉施設や社会福祉協議会などで福祉的な支援を必要とする人に対して相談援助を行う専門家（ソーシャルワーカー）に関する国家資格で、国家試験に合格することで取得できます。平成元年に行われた第1回試験の受験者数は1,033人でしたが、第25回試験（平成25年実施）では42,841人が受験しており、受験者数は増加傾向にあります。他の国家資格と比べるとこの資格の歴史は浅いですが、高齢者福祉の拠点である地域包括支援センターには配置が求められるなど、社会福祉士に対する社会的な期待は高まる一方です。

本学部では社会福祉の実践現場に近い教育を行っていますが、その一つとして社会福祉士取得に対する支援に力を注いでいます。春・秋学期に開講する「生活支援学特別講義A・B」では、社会福祉士国家試験で過去に出題された問題を素材とした演習と講義によって、合格に必要な知識の習得を支援しています。また学生の受験に対するモチベーションの維持・向上のためニュースレターを毎回配布し



ています。さらに、模擬試験を年に4~5回実施しています。この模擬試験によって学生は自分の弱点を知り、その後の学習計画立案の一助となっています。

これらに加え、学生の自主的な受験勉強を応援するため、3つの学習室を準備しています。学習室には最新の受験対策図書・問題集などが用意されており、多くの学生が日々この学習室で学んでいます。このような取り組みの結果、社会福祉士全体の合格率が約19%に留まる中、本ライフデザイン学部の合格率は42.9%（第25回試験）と2倍以上になっています。



今年（第26回試験）の結果は3月に発表されますが、前回同様、多くの学生が社会福祉士国家試験合格の栄冠をつかみ取ることでしょう。